

環境経営レポート

2021年度

2021年4月 ~ 2022年3月



2020年5月竣工
有限会社飯田製作所 福島第2工場3棟増築



横浜本社



福島工場

発行日: 2022/5/27
有限会社飯田製作所

発行	確認	承認
和泉平	加藤	野渡

目次

1) 会社名概要	1
2) 環境経営方針	2
3) 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
4) 全体目標と実績(共有活動実績)	4
5) 全体活動の評価(共有活動実績)	5
6) 福島工場目標と実績	6
7) 福島工場活動の評価	7
8) 福島第2工場目標と実績	8
9) 福島第2工場活動の評価	9
10) 本社工場目標と実績 活動の評価	10
11) 環境経営計画と取組結果・評価、次年度の取組内容	11
12) 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	12
13) 代表者による全体評価と見直し	12

1) 会社概要

会社名

有限会社飯田製作所

代表者名

代表取締役 野渡 透一

所在地

本社 (EA21認証登録:取得日 2015年8月 番号0002817)
〒245-0018 横浜市泉区上飯田町823番地

福島工場 (EA21認証登録:取得日 2008年8月 番号0002817)
〒969-1203 福島県本宮市白岩字埋内120-2

福島第2工場 (EA21認証登録:取得日 2010年8月 番号0002817)
〒969-1204 福島県本宮市糠沢字水上21-2

環境管理責任者

佐藤 栄治 (管理課 課長)

連絡先

福島第2工場
電話 0243-64-2320 (代表)
FAX 0243-64-2571

事業内容

輸送機器部品製造(フッ素樹脂、エンジニアリングプラスチック)

事業活動(認証登録範囲)

産業機械・自動車用の樹脂製パッキンシール、オイルシール等の製造

事業規模(2021年度)

本社

	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
①従業員数	人	2	2	2	2	2
②敷地	m ²	1,227	1,227	1,227	1,227	1,227
③延べ床面積	m ²	466	466	466	466	466

福島工場 (工場統合:福島第2工場)

	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
①生産量	万个	10,908	9,318	11,012	---	---
②売上高	百万円	1,560	1,148	1,335	---	---
③従業員数	人	71	81	77	---	---
④敷地	m ²	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800
⑤延べ床面積	m ²	1,920	1,920	1,920	1,920	1,920

福島第2工場 (8月福島工場統合)

	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
①生産量	万个	11,018	769	845	1,037	1,213
②売上高	百万円	1,333	627	544	1,703	2,279
③従業員数	人	69	76	80	150	170
④敷地	m ²	14,200	14,200	14,200	14,200	14,200
⑤延べ床面積	m ²	2,407	2,407	2,407	6,103	6,103

2)環境経営方針

環境経営方針

企業理念に基づき全ての業務を通じて省エネ、省資源、リサイクルの推進、廃棄物削減を自主的、継続的に推進しSDGs活動の趣旨を意識し、地球環境の保護に努める。

1. 製品製造に関わる環境側面のうち、次の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます

(1) 二酸化炭素の排出量削減

照明や空調等を見直し製造・工場設備の省電力・効率化をする

*管理時間見直し、遮熱・排熱管理で廃棄エネルギーの減少化検討

(2) 廃棄物の排出量削減

廃棄物の分別収集を徹底し、資源のリサイクルをする

(3) 総排水量の削減

水を効率的に利用する為に設備等の工夫・メンテナンスをする。

2. 関係する環境関連法規を遵守します。

3. 化学物質の削減及び、適正管理に努めます。

4. 環境負荷軽減することが当然であるとの認識してもらえ 機会を設け社員と共に働きがいのある職場づくりに努める。

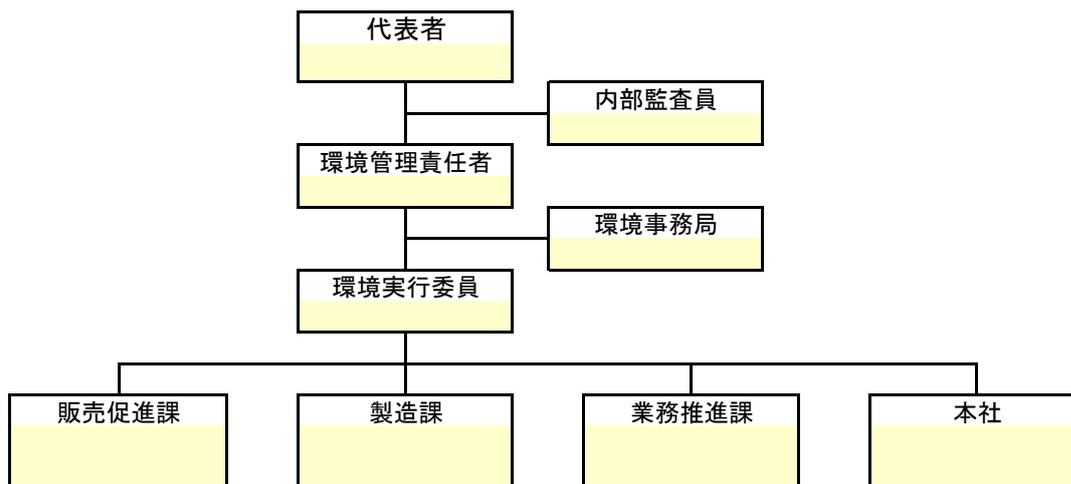
5. 環境方針は全従業員に周知させるとともに、実施している 取り組みをホームページ等を通じ判り易く社外へ公表します。

2022年4月1日

(有)飯田製作所

代表取締役社長 野渡透一

3)環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認 課題とチャンスを整理し、明確化する 効果的で必要十分な実施体制を構築する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境実行委員の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
環境実行委員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性の自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加

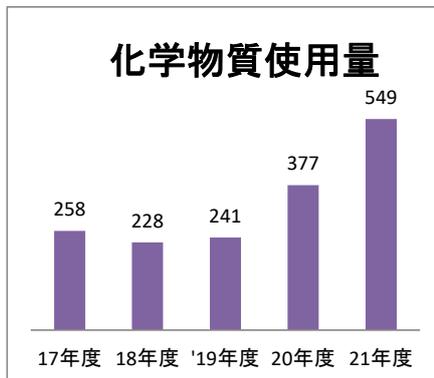
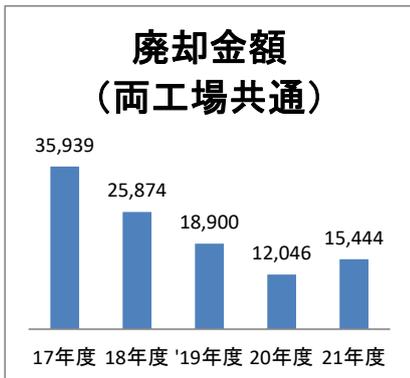
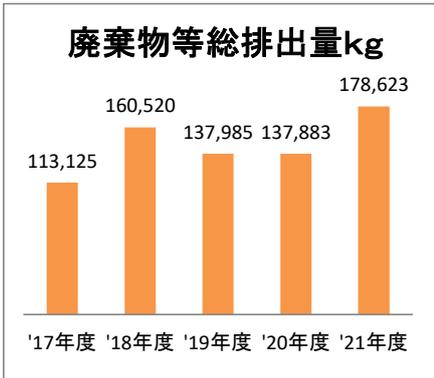
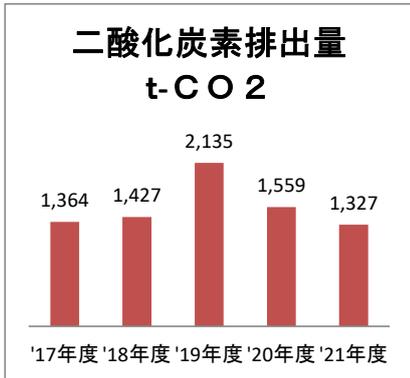
4) 全体目標と実績(共有活動実績)

環境経営目標と実績

環境経営目標		単位	実績					中長期目標値		
			'17年度	'18年度	'19年度	'20年度	'21年度	'22年度	'23年度	'24年度
二酸化炭素の排出量削減	目標	t-CO ₂	1,366	1,372	1,584	1,538	1,528	1,294	1,263	1,232
	実績		1,364	1,427	2,135	1,559	1,327	基準年度2020年 削減率△17%	基準年度2020年 削減率△19%	基準年度2020年 削減率△21%
	評価		達成	未達	達成	達成	達成			
廃棄物の排出量削減	目標	kg	135,142	125,120	155,225	178,977	136,504	135,125	133,747	132,368
	実績		113,125	160,520	137,985	137,883	178,623	基準年度2020年 削減率△2%	基準年度2020年 削減率△3%	基準年度2020年 削減率△4%
	評価		達成	達成	未達	未達	未達成			
水使用量の削減 (総排水量)	目標	m ³	1,829	1,810	2,195	1,947	1,927	1,793	1,775	1,757
	実績		1,082	1,787	1,983	1,830	1,982	基準年度2020年 削減率△2%	基準年度2020年 削減率△3%	基準年度2020年 削減率△4%
	評価		達成	達成	達成	達成	未達成			
廃却金額の削減 (両工場共通) 廃棄物と連動	目標	金額 (千円)	37,987	28,222	26,955	16,219	10,841	9,637	8,432	7,228
	実績		35,939	25,874	18,900	12,046	15,444	基準年度2020年 削減率△20%	基準年度2020年 削減率△30%	基準年度2020年 削減率△40%
	評価		達成	達成	達成	達成	未達成			
化学物質 使用量の削減	目標	kg	312	311	295	279	373	369	366	362
	実績		258	228	241	377	549	基準年度2020年 削減率△2%	基準年度2020年 削減率△3%	基準年度2020年 削減率△4%
	評価		達成	達成	達成	未達成	未達成			

※総排水量は水投入量で把握

※電力の二酸化炭素排出係数は0.457kg-CO₂/kwh



5) 全体活動の評価(共有活動実績)



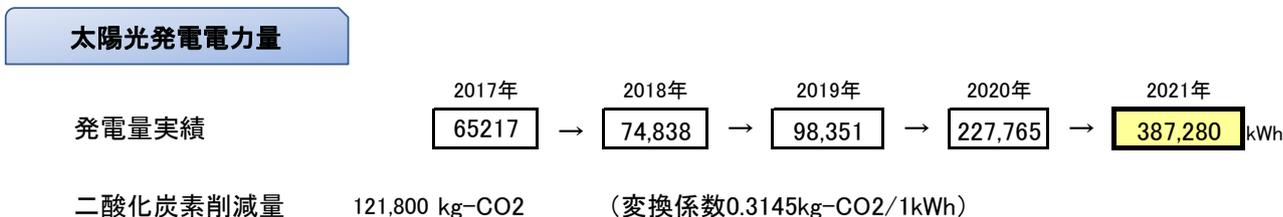
- ・ 目標を達成。
- ・ 昨年より、気温の変化が少ない事と太陽光発電量が好調であった為、大幅な目標達成となりました。
- ・ 空調関係の節電と太陽光発電を良い状態で運転する事が節電のポイントと捉え、さらなる節電と発電の維持管理の施策を検討していきます。



- ・ 目標は未達成。
- ・ 昨年より、生産数が増加した為、廃棄物量が増加している。
- ・ 次年度も製品の不適合率低減活動により、引き続き廃棄物削減を推進する。



- ・ 目標は未達成。
- ・ 次年度は、節水の啓蒙活動継続及び、水栓に節水コマ設置。雨水再利用の検討を行う。



- ・ 目標は未達成。生産数増に伴い、廃却金額も増加した為。
- ・ 次年度も製品の不適合率低減活動により、引き続き廃却金額削減を推進する。



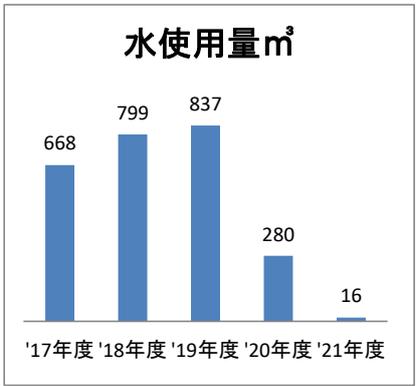
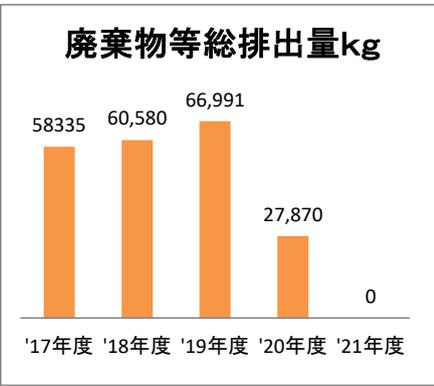
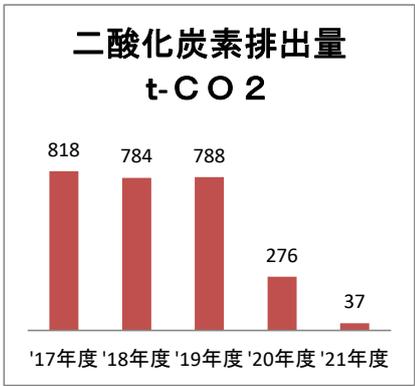
- ・ 目標は未達成。
- ・ 溶剤使用量の多い品目の生産数が増加した事により、使用量が増加
- ・ 次年度は、溶剤再生装置を導入し、廃液を再利用し使用量(購入量)削減及び産業廃棄物を削減する。

6) 福島工場目標と実績

環境経営目標と実績

環境経営目標		単位	実績					中長期目標値		
			'17年度	'18年度	'19年度	'20年度	'21年度	'22年度	'23年度	'24年度
二酸化炭素の 排出量削減	目標	t-CO ₂	780	816	807	338	50	49	48	47
	実績		818	784	788	276	37	工場統合により生産は行わない		
	評価		未達	達成	達成	達成	達成			
廃棄物の 排出量削減	目標	kg	59,850	59,239	60,277	38,987	0	0	0	0
	実績		58,335	60,580	66,991	27,870	0	工場統合により生産は行わない		
	評価		達成	未達	未達	達成	達成			
水使用量の削減 (総排水量)	目標	m ³	1,031	1,020	1,009	433	30	29	28	27
	実績		668	799	837	280	16	工場統合により生産は行わない		
	評価		達成	達成	達成	達成	達成			

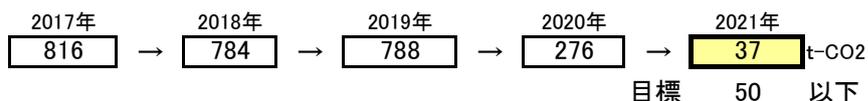
※総排水量は水投入量で把握
 ※電力の二酸化炭素排出係数は0.457kg-CO₂/kwh



7) 福島工場活動の評価

二酸化炭素排出量の削減

【評価】 達成



- ・ 目標を達成。
- ・ 工場統合に伴い、生産が行われていない為、以後、水回り設備を最低稼働し、監視を継続します。

廃棄物の排出量削減

【評価】 達成



- ・ 目標を達成。
- ・ 工場統合に伴い、生産が行われていない為、廃棄物の発生はありません。

水使用量の削減

【評価】 達成



- ・ 目標を達成。
- ・ 洗面所、水道等の水漏点検で維持管理を実施。

太陽光発電電力量

発電量実績



二酸化炭素削減量 15,340 kg-CO₂ (変換係数0.3145kg-CO₂/1kWh)

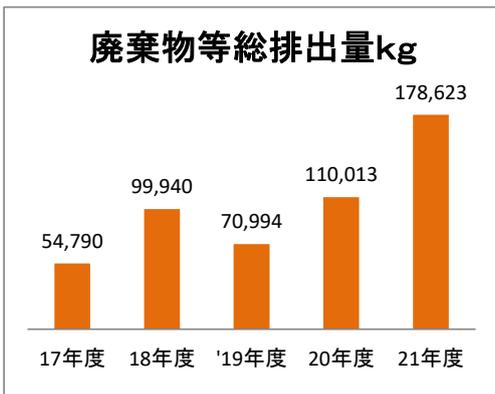
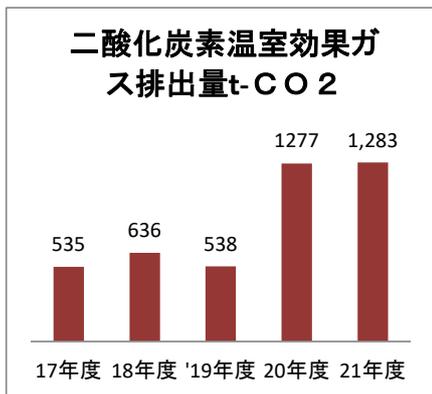
8)福島第2工場目標と実績

環境経営目標と実績

環境経営目標		単位	実績					中長期目標値		
			17年度	18年度	'19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
二酸化炭素の 排出量削減	目標	t-CO ₂	574	544	763	1187	1,472	1,240	1,210	1,180
	実績		535	636	538	1277	1,283	基準年度 2020年 削減率△17%	基準年度 2020年 削減率△19%	基準年度 2020年 削減率△21%
	評価		達成	達成	達成	未達成	達成			
廃棄物の 排出量削減	目標	kg	75,287	65,876	94,943	139,985	136,504	135,125	133,747	132,368
	実績		54,790	99,940	70,994	110,013	178,623	基準年度 2020年 削減率△2%	基準年度 2020年 削減率△3%	基準年度 2020年 削減率△4%
	評価		達成	未達成	達成	達成	未達成			
水使用量の削減 (総排水量)	目標	m ³	788	780	1176	1,499	1,887	1,754	1,736	1,719
	実績		407	980	1138	1,539	1,955	基準年度 2020年 削減率△2%	基準年度 2020年 削減率△3%	基準年度 2020年 削減率△4%
	評価		達成	未達成	達成	未達成	未達成			

※2020年8月に福島工場から第2工場へ生産設備を移管した為、
21年度からの目標値が見直されています。

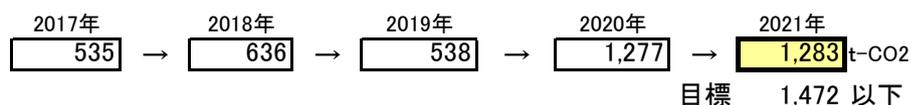
※総排水量は水投入量で把握
※電力の二酸化炭素排出係数は0.457kg-CO₂/kwh



9) 福島第2工場活動の評価

二酸化炭素排出量の削減

【評価】 達成



- ・ 目標を達成。
- ・ 昨年より、気温の変化が少ない事と太陽光発電量が好調であった為、大幅な目標達成となりました。
- ・ 空調関係の節電と太陽光発電を良い状態で運転する事が節電のポイントと捉え、さらなる節電と発電の維持管理の施策を検討していきます。

廃棄物の排出量削減

【評価】 未達成



- ・ 目標は未達成。
- ・ 昨年より、生産数が増加した為、廃棄物量が増加している。
- ・ 次年度も製品の不適合率低減活動により、引き続き廃棄物削減を推進する。

水使用量の削減

【評価】 未達成



- ・ 目標は未達成。
- ・ 水を使用する製品(前年比22%)増加により、水使用量が増加してしまった。
- ・ 次年度は、節水の啓蒙活動継続及び、水栓に節水コマ設置。雨水再利用の検討を行う。

太陽光発電電力量

発電量実績



二酸化炭素削減量

106,460 kg-CO₂ (変換係数0.3145kg-CO₂/1kWh)

10) 本社工場目標と実績 活動の評価

環境経営目標		単位	実績					中長期目標値		
			17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	21年度	22年度	23年度
二酸化炭素排出量の削減	目標	t-CO ₂	12.19	11.99	13.5	13.18	6.40	5.42	5.29	5.16
	実績		11.43	7.09	809	6.53	7.13	基準年度2020年削減率△17%	基準年度2020年削減率△19%	基準年度2020年削減率△21%
	評価		達成	達成	達成	達成	未達成			
廃棄物の排出量の削減	目標	kg	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0	0	0
	実績		0	0	0	0	0	廃棄物発生無し		
	評価		達成	達成	達成	達成	達成			
水資源投入量(総排水量)	目標	m ³	9.85	9.8	9.75	14.7	10.89	10.78	10.67	10.56
	実績		7.0	8.0	8.0	11.0	11.0	基準年度2020年削減率△2%	基準年度2020年削減率△3%	基準年度2020年削減率△4%
	評価		達成	達成	達成	達成	未達成			

※総排水量は水投入量で把握
 ※電力の二酸化炭素排出系数は0.457kg-CO₂/kwh



- ・ 目標は未達成。
- ・ 引き続き、節電活動を実施。



- ・ 実験器具のみのため廃棄物発生しません



- ・ 目標は未達成。
- ・ 引き続き、節水活動を実施。

11) 環境経営計画と取組結果・評価、次年度の取組内容

環境経営計画と取組結果・評価、次年度の取組内容

施策		計画	対象	責任部門	評価	次年度の取組内容
二酸化炭素 排出量の削減	1 コンプレッサー効率運転	通年	第2工場	製造課 技術課	○	・計画に沿って定期的点検及び整備(オイル交換、フィルタ交換、清掃等)実施 ・空気圧縮機のエア漏れ点検(作業場、生産設備等)実施
	2 エアコン、空調の効率向上	通年	第2工場	各課	○	・各製造フロアの空調フィルタの定期清掃(各部署のエアコン)
	3 化石燃料の使用量削減	通年	第2工場	保証課	○	・節電活動の推進 ・社有車の運行管理とエコドライブ推進
廃棄物の 排出量削減	4 一般廃棄物の削減	通年	第2工場	各課	△	・リサイクル分別回収の継続実施
	5 産業廃棄物の削減	通年	第2工場	各課	△	・PTFE材のリサイクル化(対象材質の拡大)により、埋立処分ゼロに向け活動を継続 ・改善プロジェクト活動による製品廃棄量削減
水使用量の 削減	6 水使用量の削減	通年	第2工場	各課	△	・洗面・食堂・トイレ等の水漏れを定期的に点検 ・節水の啓蒙活動継続 ・水栓に節水コマ設置 ・雨水再利用の検討
廃却金額の削減	7 製品廃却金額の削減	通年	第2工場	製造課 品管課	×	・製品の不適合率低減活動により、引き続き廃却金額削減を推進する。廃棄物の削減活動と抱き合わせて活動展開する。
化学物質 使用量の削減	8 溶剤の使用量削減	通年	第2工場	製造課	×	・使用済み溶剤の再生により、使用量を削減する。
その他	9 緊急事態対応訓練	通年	第2工場	安全衛生 委員会	○	・消防計画書により実施。(安全衛生委員会活動による)
	10 地域社会貢献活動	通年	福島工場 第2工場	保証課	○	・美化運動、構内・構外の側溝点検と清掃実施

○ 達成 △ 一部未達成 × 未達成

12)環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- ・自社の環境関連法規の違反はありません。
- ・近隣からの苦情、関係機関からの指摘、及び訴訟等は過去12年間ありません。

13)代表者による全体評価と見直し

(1)全体評価

- ・今後益々、要求が上がる事は当然として、企業活動を継続するには、計画的な管理をしっかりと、環境負荷の削減が必須なので、達成に向けた計画策定ができ、それに沿った実行で実績を残すことができてきた。
- ・今後も実行するための実施計画をしっかりと作成し、必要であれば計画の見直し含め、目標を達成できる様に、全社員の認識を高め、少しでも高い目標をもって、達成を目指します。

(2)見直し

- ・自社の取り組みについて、情報収集・整理を行い、HP上等でのPR活動に繋げられる様にする。
- ・太陽光パネルの温度と発電効率について、情報収集を行い、雨水冷却等の施策を検討。
- ・災害発生時の非常水源活用、冷却水使用を目的に井戸水の使用を検討。

2021年5月21日
(有)飯田製作所
野渡 透一

実施事項:

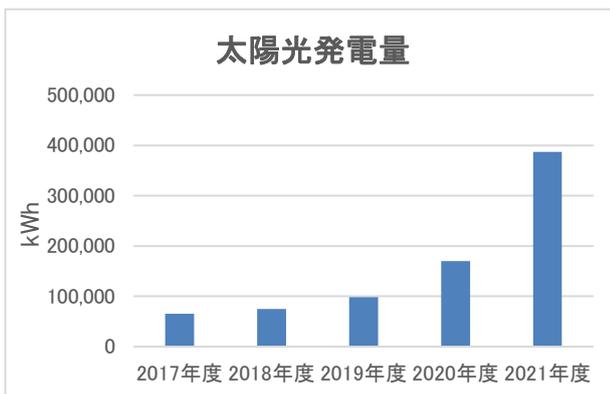
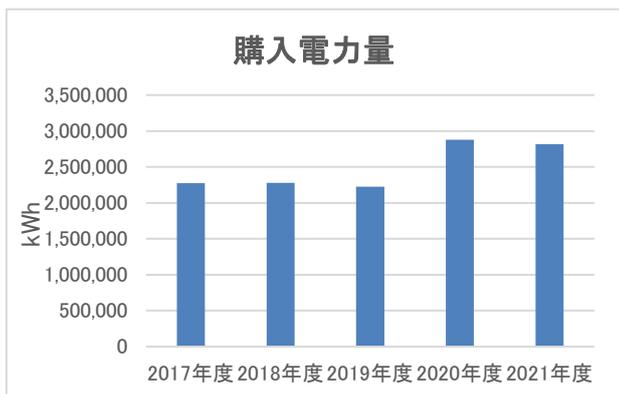
①購入電力量と太陽光発電量の推移

2021年度は、387,280kWhを発電。(工場稼働33日分に相当)
 二酸化炭素削減量: 121,800kg-CO2/年 (変換係数0.3145kg-CO2/1kWh)

(単位:kWh)

年度	購入電力量	太陽光発電量		
		売電	自家消費	合計
2017年度	2,274,791	65,217	0	65,217
2018年度	2,277,890	74,838	0	74,838
2019年度	2,226,057	66,271	32,080	98,351
2020年度	2,879,961	51,824	118,502	170,326
2021年度	2,814,982	48,775	338,505	387,280

387280 13.75781

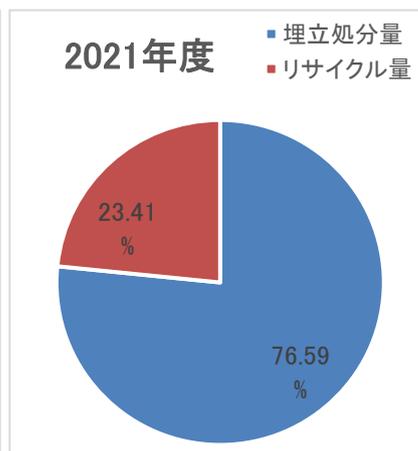
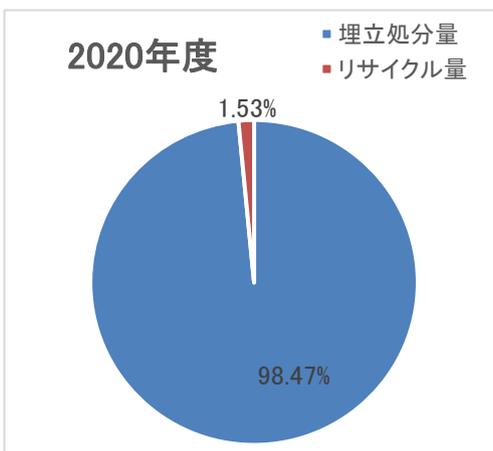
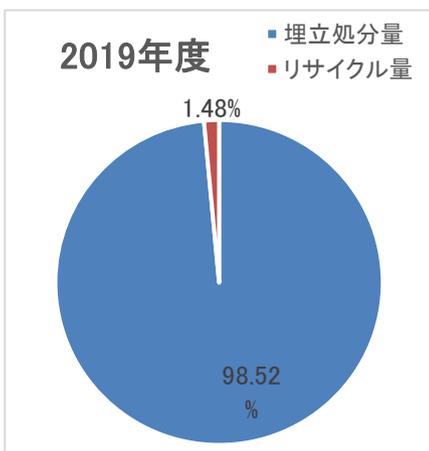


②PTFEリサイクル量の推移

2021年度は、PTFEのリサイクル率23.41%となっています。
 (再資源化・金属回収・RPF(固形燃料)化による)

(単位:kg)

年度	埋立処分量	リサイクル量	リサイクル率
2019年度	135,947	2,038	1.48%
2020年度	135,772	2,111	1.53%
2021年度	136,815	41,808	23.41%



【リサイクルの様子】

